

印度學佛教學研究

第十九卷 第一號

[通卷第37號]

昭和45年12月

日本印度學佛教學會

新學
PDG

印度學佛教學研究

第十九卷 第一號

花園大學における
第二十一回學術大會紀要（一）



昭和45年12月

日本印度學佛教學會

新刊
知學
船
PDG

JOURNAL
OF
INDIAN AND BUDDHIST STUDIES

Vol. XIX No. 1 December 1970
[37]

PROCEEDINGS (1)
OF THE TWENTY-FIRST CONGRESS
HELD AT
HANAZONO UNIVERSITY

Edited by
JAPANESE ASSOCIATION OF
INDIAN AND BUDDHIST STUDIES



印度學佛教學研究

第十九卷 第二號

花園大學における
第二十一回學術大會紀要（二）



昭和46年3月

日本印度學佛教學會

新刊
知學
船
PDG

JOURNAL
OF
INDIAN AND BUDDHIST STUDIES

Vol. XIX No. 2 March 1971

[38]

PROCEEDINGS (2)
OF THE TWENTY-FIRST CONGRESS
HELD AT
HANAZONO UNIVERSITY

Edited by
JAPANESE ASSOCIATION OF
INDIAN AND BUDDHIST STUDIES

目次

如来藏思想の淵源に就いて.....	西義雄.....一
『教行信証』のもつ歴史的現実性.....	石田充之.....三
バガヴァド・ギーターにおける“Sāṃkhya”の語義について.....	塚本啓祥.....六
禅と念仏との邂逅.....	藤吉慈海.....七
菩薩思想の考察方法.....	芳村修基.....三
シナ如来藏思想.....	小川弘貫.....四
転の思想——華嚴を中心として.....	福原亮厳.....四
一遍教学における往生の時点.....	河野憲善.....五
一休「風狂」の側面観.....	市川白弦.....五
『歎異鈔』の「大切の証文」について.....	宮地廓慧.....六
Cittopāda について.....	磯田熙文.....七
三品経と舍利弗悔過経——原始大乘における悔過法の一資料——.....	静谷正雄.....七
古代インドの墓制 (Smaśāna-Kaśāna) について.....	杉本卓州.....八
仏教認識論上の五蘊.....	山本啓量.....九
燃灯仏の起源とナガラハラ.....	定方晟.....九
戒観小考.....	土橋秀高.....九
篤敬三宝章について.....	望月一憲.....一〇
インドにおけるペルシア文学.....	黒柳恒男.....一〇
自己意識と我執の構造.....	井上善右衛門.....一三
仏教カウンセリングから見た教育方法論.....	藤田清.....一六
真理は一元か相対か.....	松尾宝作.....一六

『俱舍論』の二諦説……………	高橋 壯……………
弥勒作論書の著者問題——中辺分別論の五思想に基づいて——……………	横山 絃……………
大乘阿毘達磨經について……………	前田 至……………
八識に関する慧遠の解釈……………	日置 孝……………
梁高僧伝の構成……………	田中 敬……………
禅宗は恵能と壇經以後に(一)——南宗・北宗の盛衰——……………	長嶋 孝……………
瘞髮塔記について——慧能伝記研究の一節——……………	楊 鴻……………
楊文会以後の中国仏教学……………	林 伝……………
自然法爾の思想……………	幸 城……………
真宗二諦説の吟味……………	山崎 勇……………
『教行信証』における菩提心……………	石 崎……………
他力廻向論理成立の淵源に関する一考察……………	桑 原……………
安心決定鈔に就いて……………	岸 部……………
親鸞教学より見た『谷響集』の浄土教批判……………	菊 藤……………
親鸞聖人の仏身観(一)……………	藤 谷……………
最澄研究史の検討……………	朝 枝……………
祈りと本願——真宗現世利益論の問題点——……………	藤 原……………
芭蕉書翰における宋風禅要の証言——新書翰の文化史的読解——……………	岡 部……………
仏教福祉の概念——阿育王の事蹟よりみて——……………	福 原……………
生死の問題……………	和田 昌……………
変化と関係——範疇と法——……………	横 山……………
空海とシェーラーにおける実践的統一について——その比較哲学的考察——……………	吉 原……………
グナタナ釈興然の南方僧団移植の事業……………	東 元……………
西洋インド学の特質……………	村田 忠……………

wt460/01

原始仏教における縁起説の研究……………小島一晃・石井将幹・渡辺真光…一六五

華嚴經における空觀の一考察（承前）——とくに般若經との関連において……………増田英男…二〇〇

十地經における Dasa-bhūmi の意義……………伊藤瑞毅…二〇四

宝性論の引用經典……………市川良哉…二二三

Śikṣasāmanuccaya における法華經の引用文……………清田寂雲…二七

正理學派の神の論証とダルマキールティによる批判……………木村俊彦…三三

有形象論における増益と損減の意義……………木村俊彦…三三

——Jānaśrīmitra : SĀKĀRASIDDHIŚĀSTRA VI——……………寛無関…三〇

『法經錄』について……………内藤龍雄…三三

別教について……………幣道紀…三九

中国仏教におけるアビダルマ研究の系譜……………吉津宜英…四三

六祖壇經興聖寺本の伝承に就いて……………中川孝…四六

天台智顗の止観論……………池田魯参…五一

華嚴經宗趣論の歴史と意味……………木村清孝…五五

大乘五方便の諸本の成立について……………武田忠…六二

魏晉代における習禪者の形態——特に神儒家との関連において……………大谷哲夫…六七

敦煌發見の勝鬘經疏（奈93）と勝鬘經義疏との比較研究（2）……………金治勇…七〇

——主としてその学系について——……………尾上寛仲…七四

天台義科の成立過程……………奈良弘元…八〇

初期叡山浄土教について——とくに、常行三昧始修の問題をめぐって……………渡辺守順…八四

古今著聞集における叡山仏教……………八木昊恵…八六

尊舜の法華經鷲林拾葉鈔について——中古日本天台史上の地位——……………真保竜徹…九三

四種曼荼羅義の成立について……………稻谷祐宣…九六

空海の弟子たち……………稻谷祐宣…九六

三大秘法稟承事について……………	岡田栄照……………三〇三
浄土院版「伝教大師将来目録」について(二)——特にその序跋を中心として——	牛場真玄……………三〇七
芳英の華嚴研究について……………	小林実玄……………三二〇
源信和尚の倫理観について……………	三木照国……………三三四
『正法眼蔵』の読み方について……………	東隆真……………三八六
親鸞主著『教行信証』全六巻を順次読み終つての日本学的通論兼小「疑問」	小野正康……………三三三
『教行信証』における「智慧」——真仏土巻・化身土巻の場合——	浜田耕生……………三七七
親鸞における信の二態……………	信楽峻磨……………三五五
真宗における行論の一視点……………	岡亮……………二四〇
伊豆山源延とその浄土教……………	三田全信……………三四四
悪人正機説の系譜について……………	梶村昇……………三八六
親鸞浄土教における正助二業について……………	紅煤英頭……………三五四
西方指南抄における省略について……………	靈山勝海……………三六六
一遍正人の教化理念——人間観を中心として——	竹内明……………三六三
結縁灌頂の庶民化(一)……………	上田靈城……………三六七
日本法制史における神水……………	清田義英……………三七三
煩惱即菩提について……………	春日礼智……………三七九
説教における聖と俗……………	中野東禪……………三八四
関与の原理と同一性の原理……………	西山広宣……………三六七
援助的人間関係の本質について——歎異鈔第二章にあらわれた親鸞の人間観——	西光義敞……………三九一
今来(いまき)の神と仏たち	
——帰化人グループの承来した神と仏に対する陰陽道的考察——	岩佐貫三……………三九五
仏教原典研究の意義と『インド古典研究』(Acta Indologica)の創刊……………	渡辺照宏……………三九九
第二十一回学術大会記事……………	四〇四

長井真琴先生を偲ぶ	宮本正尊	四二〇
.....	中村元	四二一
.....	水野弘	四二三
荒木照定大僧正現下を偲ぶ	宮本正尊	四二四
末綱恕一先生を偲ぶ	宮本正尊	四二八
来馬道断老師を偲ぶ	宮本正尊	四三〇
森川智徳先生を偲ぶ	宮本正尊	四三三
古田重二良先生を偲ぶ	宮本正尊	四三四
会則・役員名簿		四三七
執筆者紹介		一・五三・五〇・六・二一一
Āryabhata の数表記法	矢野道雄	四三八
Mahāvānasamgraha 及びその Asvabhāva 註釈の特徴	袴谷憲昭	四四〇
——チン・シヤ説を資料として——	江島恵教	四四一
Artisa の無自性論証		
On the Fên-bié-gōng-dé-lùn (分別功德論)	Sodō MORI	四四六
The Codes of Chōsokabe Motochika and the Economy of Buddhist Temples in His Day (I)	Kōzen TACHIBANA	四四九
The Pure Land Teaching on the Necessity of Fundamental Understanding from Within	Gishin TOKIWA	四五八
The Principles of Reasoning and Forms of Argument in the Early Buddhist Canon	Fuminaro WATANABE	四六六
The Essence of the Sāṃkhya by Vijñāna Bhikṣu	Megumu HONDA	四六八

目次

日本仏教の学匠と禪	荻須純道	一
十善の成立	中村元	九
YAMANTAKA 考	宮坂有勝	二五
大乗阿毘達磨雜集論の漢藏伝承について	高崎正芳	四
原始仏教の宗教性と倫理性	三枝充恵	六
三論学派における涅槃研究の濫觴	平井俊榮	三
浮屠祠と祠堂	小川貫式	四
念仏と懺悔——法然浄土教を中心として——	坪井俊映	四
中国仏教の道教的展開	道端良秀	五
Nirāṇa と Anāṭman——マイトリ・ウパニシャッドの無我と原始仏教——	村上真完	六
阿毘達磨仏教における信について	河村孝照	六
不二元論派の聖典解釈の方法について——Anvaya と Vyāhṛti——	前田專学	六
根本説一切有部と三啓無常經について	佐々木教悟	八
日蓮教学における浄土と穢土	上田本昌	九
般若經と六波羅蜜經	平川彰	五
「自生」の否定(上)——ツォンカバ造入中論釈の研究——	小川一乘	四
サアードット・ハサン・マントーに就て	鈴木斌	二〇九
智顗の実相認識の展開理由について——特に前期時代にみられる「空」の理解をめぐって——	新田雅章	二三
『法華去惑』について	田村晃祐	二八
敦煌出土チベット文マハエン禪師遺文	上山大峻	三三
北宗禪の一資料	柳田聖山	三七

Amala-jñāna と阿摩羅識について

Kālidāsa の作品に見られる死観

般若経等よりみた空空 (śūnyatā-śūnyatā) について

『マハーヴァスツ』の十地

無量寿経三輩段の一考察

即身成仏義における大日経の引用について

『大乘玄論』八不義の真偽問題

江南涅槃学派における二諦義研究

親鸞における疑

丹波三岳修験について

仏教伝道における児童文学の効用——宮沢賢治作品の意図するもの——

明治維新期における廃仏棄釈の一断面——富山藩の場合——

『法句経』の「千品」と『仏本行集経』

キツネつきと題目行者——武蔵野地方の法民俗——

宝地房証真の共同研究(二)——宝地房証真のみた円頓止観——

同 宝地房証真にみられる教判について

同 宝地房証真の弥陀身土論について

同 宝地房証真の四車説について

印融法印と関東東密法流について——印融二十四帖及び印融抄三帖の相伝——

元照の仏教観

捨聖の生死観(その二)——通世者の価値観について——

天童如浄と永平道元

『永平祖师得度略作法』と『出家略作法』について

『伝光録』仙英本について

岩田良三・二六

野部了衆・二六

坂部明・二四

藤村隆淳・二四

大田利生・二四

日和田慈円・二四

伊藤隆寿・二四

古坂竜宏・二五

宗兼利・二五

吉田清・二五

北小路瑞浩・二五

北沢俊嶺・二五

齐藤和子・二六

荒井貢次郎・二六

佐藤哲英・二七

小寺文穎・二七

源弘之・二八

福原隆善・二八

伊藤宏見・二八

中山正晃・二八

石岡信一・二九

角田春雄・三〇

渡部賢宗・三〇

山端昭道・三二

遍正五位と四料簡——曹洞宗旨と臨済宗旨比較の中項を求めて——	石附勝龍	二六
ハイデッガー最近の境涯と道元禪	杉尾玄有	三〇
道元とベーメの「自己」について——比較哲學的研究——	笠井貞	三四
永平弁道話流通考(続)	遠藤孝次郎	三八
日蓮宗における十王信仰の受容について	松村寿嚴	三三
菩提心——法然・親鸞——	小林昭英	三七
湖北觀音寺と庶民仏教	佐々木孝正	四一
元曉の華嚴思想	石橋真誠	四五
日本唯識研究——西明寺円測の扱いについて——	太田久紀	四八
法藏における初歡喜地の理解	鍵主良敬	五三
華嚴一乘法界図について	金知見	六三
韓国仏教の伝統的學習教育科程について	蔡澤	六八
劉禹錫の送僧詩考	河内昭門	七一
沙門慧簡	新井慧譽	七五
中国における密教系淨土思想	柴田泰	八三
論註における往生の因果——入出と往還について——	山田行雄	八八
河南路と仏僧について	小田義久	九三
法華玄義の一側面	青木孝彰	九六
涅槃經疏成立に関する一視点——道朗、法朗をめぐって——	坂本広博	一〇一
三願転入に於ける二十願の位置	小野蓮明	一〇四
唐代における『維摩經』の研究講説	佐藤心岳	一〇八
竺道生の仏無淨土論	古田和弘	一一三
廬山慧遠における「隱道」の意味	桐谷征一	一二九
大慧宗杲とその弟子たち(二)——『宗門聯燈会要』の歴史的性格——	石井修道	一三三

宋高僧伝と著者贊寧の立場	安藤智信	三三五
Sihalavattihupparāṇa と Lokappadīpakasāra	橘堂正弘	三三〇
Uṇṣakajāṇāṇikāra 述作の意趣	吉元信行	三三三
ニカーヤ・阿含における「無常・苦・無我教説」について	森章司	三三八
戒解釈の問題——そのサンガとの関係——	大友利行	三四三
Aśoka 王時代の仏教に関する一考察	小笠原隆元	三四六
縁生論について	大南龍昇	三五〇
竜樹の縁起観——「中論」に説かれる十二支縁起——	八力広喜	三五四
大智度論の女性観	大鹿実秋	三五九
永遠仏について——法華經と浄土經——	荊谷定彦	三六四
入楞伽經における「唯心」	宮本献璽	三六九
Subhāṣitasamgraha に関する一考察——その構成と内容を中心として——	頼富本宏	三七三
Sāṅkhyā の Pratyakṣa について	山下勲	三七七
Saddanti に於ける音声論	片山一良	三八一
‘Agyeya’ の詩 ‘Asādhyā Vīṇā’ をめぐって	田中敏雄	三八七
ヒンディー語における過去時制の対立	溝上富夫	三九一
タゴール作、詩集「ギーターンジャリ」(その三)	田中孝海	三九五
再びシュエダゴン・パゴダ縁起について——ビルマの仏教受容に関する一伝説——	池田正隆	四〇三
仏教における福祉理念——『大唐西域記』の信仰記述について——	橋本芳契	四〇六
原始仏教における生天思想	藤田宏達	四一二
自然と実相	田村芳朗	四二二
『北山録』について	椎名宏雄	四三〇
エ・ラモット教授の『大智度論フランス語訳註』第三巻について	平川彰	四三五

会則・役員名簿 四五

執筆者紹介 一四〇・八六・二八・二七

寄稿されなかつた諸氏の発表題目 一五・一六・三三・二六

第二十二回学術大会開催予告 一四

小谷喜美殿の御逝去を悼む 宮本正尊・九一

Stapati (建築家) に代表されるインド芸術家の特性 清水 乞・九六

Nyāyabhūṣaṇa にみられる Khyātivāda 山上証道・九一

メーターヴィンおよびダルマキールティ点描 大類 純・九六

——サンスクリット修辞学に関連して——

『諸法集要経』不放逸品第六——故林藜光氏校定梵本の読みについて 大地原豊・中谷英明・九七

Über die Authentizität des *Arthavāda* Kunio HARIKAI 九三

On the Problem of prajñā, carya and śraddhā Haruhiko MASAKI 九三

—— in connection with the commentary upon the Vimalakīrti-nirdeśa-sūtra ——

Word and Inference in the Yuktidīpikā (part II) Naomichi NAKADA 一〇〇

The Atomic Theory of Vasubandhu, the Author of the *Abhidharmakośa* Yuichi KAIJYAMA 一〇六

Some Notes on 'Saṃsāra' Esho YAMAGUCHI 一〇八

The *Tathāgatagarbha* Theory in the *Mahāparinirvāṇa-sūtra* Jikido TAKASAKI 一〇九

JOURNAL OF INDIAN AND BUDDHIST STUDIES

(INDOGAKU BUKKYŌGAKU KENKYŪ)

Volume XIX Number 1

CONTENTS

The Origin of the Tathāgata-garbha Thought Giyū Nishi, Prof. of Hanazono University	1
The Historical Actuality in the <i>Kyōgyōshinshō</i> Mitsuyuki Ishida, Prof. of Ryūkoku University	12
On the Concept of 'sāṃkhya' in the <i>Bhagavad-gītā</i> Keishō Tsukamoto, Prof. of Risshō University	18
Meeting of Zen and Nembutsu Jikai Fujiyoshi, Prof. of Hanazono University	27
A Methodological Study on the Bodhisattva Doctrine Shūki Yoshimura, Prof. of Ryūkoku University	35
The Tathāgata-garbha Thought in Chinese Buddhism Kōkan Ogawa, Prof. of Komazawa University	41
'Turning' in the <i>Daihōkōbutsukegongyō</i> Ryōgon Fukuhara, Prof. of Ryūkoku University	47
The Time of Death and the Time of Rebirth in the Pure Land in the View of Ippen's Teaching Kenzen Kōno, Prof. of Shimane University	53
A Side-view of the So-called 'Madness' of Ikkyū, a Zen Master of the Muromachi Period Hakugen Icikawa, Prof. of Hanazono University	59
The So-called 'Important Passages' in the Concluding Chapter of the <i>Tannisio</i> Kakue Miyaji, Prof. of Kyoto Women's College	65
A Study on Cittotpāda in the <i>Abhisamayālaṅkāra</i> Hirofumi Isoda, Lecturer of Tōhoku University	71
The <i>Triskandhaka-dharmaparyāya</i> and Its Earliest Chinese Translation Masao Shizutani, Lecturer of Ryūkoku University	77

A Study on the Śmaśāna-karaṇa	
Takushū Sugimoto, Asst. Prof. of Tōhoku Social Welfare University	81
An Epistemological Study on "Pañca Skandhāḥ"	
Keiryō Yamamoto, Prof. of Fukui Institute of Technology ...	89
Nagarahāra and the Origin of the Buddha Dīpaṃkara	
Akira Sadakata, Lecturer of Tōkai University	93
A View on "Vinaya"	
Shūkō Tsuchihashi, Prof. of Ryūkoku University.....	99
A Study on the Second Clause of Rince Shōtoku's "Seventeen Clauses Constitution"	
Kazunori Mochizuki, Prof. of Tokyo Medical and Dental University	104
Persian Literature in India	
Tsuneo Kuroyanagi, Prof. of Tokyo University of Foreign Studies	108
Self-Consciousness and Ātma-grāha	
Zen-uemon Inouye, Prof. of Kōbe University of Commerce ...	112
A Method of Educational Training in the Buddhistic Counselling	
Kiyoshi Fujita, Prof. of Shitennōji Women's College	116
Is the Truth Unitary or Correlative?	
Hōsaku Matsuo, Counselor, Research Institute of Adult Education, kanazawa University	120
Twofold Truth (satya) in the <i>Abhidharmakośabhaṣya</i>	
Sō Takahashi, Graduate Student of Tokyo University	130
A Study on the Author of Maitreya's Writings	
Kōitsu Yokoyama, Graduate Student of Tokyo University.....	132
A Study on the <i>Abhidharma-nāma-mahāyāna-sūtra</i>	
Yoshinari Maeda, Graduate Student of Ryūkoku University ...	134
Hui-yuān's View on Aṣṭa-vijñāna	
Takahiko Hioki, Kanazawa Bunko Museum	136
A Study on the <i>Liang-kao-sêng-ch'uan</i>	
Kyōshin Tanaka, Graduate Student of Komazawa University ...	138
Emergence of the So-called Zen Sect after Hui-neng and His Platformsūtra	
Takayuki Nagashima, Graduate Student of Hōsei University...	140